

長野市中心市街地活性化基本計画(第3期)

計画期間: 令和8年4月～令和13年3月

【自治体の概要】 人口: 360,260人(うち中心市街地区域: 9,571人)(令和7年10月末時点) 面積: 834.81km²(うち中心市街地区域: 2.37km²)

- ・善光寺の門前町として街並みが形成され、北国街道の宿場町を兼ねた商業都市として栄える
- ・明治30年の市制施行により長野市が誕生し、以来地域の政治、経済の要、交通の要衝として発展

目指す中心市街地の都市像

歴史を紡ぎ 未来を創造するまち『門前都市 ながの』

中心市街地の課題

まちなか居住と交流の促進

- ・急激な少子高齢化による人口減少
- ・コロナ禍に減少した公共施設利用者が回復しない

※総人口に対する中心市街地の人口比率(独自計画)

H28: 2.47% → R6: 2.55%

※もんぜんぷら座、生涯学習センター、権堂イーストプラザ市民交流センター利用者数(独自計画)

H28: 560,735人 → R6: 343,406人

地域資源の活用促進、魅力ある商業環境の充実

- ・門前に点在する魅力的な個店などの地域資源の認知不足
- ・インバウンドや若者のニーズに応えられる店舗の不足

※善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量(独自計画)

H28: 27,150人 → R6: 31,951人

まちなかの回遊を促す歩きたくするまちづくり

- ・善光寺へ訪れる観光客など、来訪者の回遊行動が中心市街地全体に広がらない

※中心市街地(6地点)の歩行者・自転車通行量(独自計画)

H28: 112,504人 → R6: 101,449人

※中央通り及び権堂アーケード沿い1階部分の空き店舗数(独自計画)

H28: 21件 → R6: 17件

中心市街地活性化の方針と目標・目標指標

多様な都市機能の充実による、誰もが生きがいを感ずる暮らしの実現

目標指標①: 7事業 (うち国支援4事業) 目標指標②: 14事業 (うち国支援8事業)

再開発事業による共同住宅の整備や公共施設における集客イベントの実施、運営方法の見直し等により住みたくする、生きがいを感ずるまちを目指す

目標 住みたくするまち

→目標指標① 中心市街地の人口

【基準値】9,521人(R6年度)→【目標値】9,800人(R12年度)[推計値9,526人]

目標 生きがいを感ずるまち

→目標指標② もんぜんぷら座、生涯学習センター、権堂イーストプラザ市民交流センター及び長野市美術館の利用者数

【基準値】513,329人(R6年度)→【目標値】572,000人(R12年度)[推計値513,329人]

主な事業 長野駅前B-1地区市街地再開発事業、伝統芸能継承事業



伝統芸能こどもフェスティバル

門前町の歴史や文化を活かしつつ、新たな魅力を生み出せるまちの実現

6事業 (うち国支援6事業)

善光寺表参道を活用したイベントの実施、外国人観光客対応の施設改修や体験サービスの提供の支援を通じて、訪れ、滞在したくなるまちを目指す

目標 訪れたくするまち

→目標指標 中心市街地内のホテルの宿泊者数

【基準値】874,560人(R6年度)→【目標値】895,000人(R12年度)[推計値874,560人]

主な事業 インバウンド等対応店舗支援事業、長野灯明まつり開催事業



外国人観光客の茶道体験

日常と非日常が行き交う、歩いて楽しめるまちの実現

目標指標①: 28事業 (うち国支援14事業) 目標指標②: 5事業 (うち国支援5事業)

善光寺表参道の歩行者優先道路化やレンタサイクルの活用、遊休不動産の活用促進やリノベーションで生まれた店舗の認知度向上を図るための情報発信により、回遊したくなるまちを目指す

目標 歩きたくするまち

→目標指標① 中心市街地(7地点)の歩行者・自転車通行量

【基準値】133,400人(R6年度)→【目標値】137,000人(R12年度)[推計値133,400人]

→目標指標② 善光寺表参道及び権堂アーケード沿い1階部分の空き店舗数

【基準値】17件(R6年度)→【目標値】13件(R12年度)[推計値17件]

主な事業 長野市レンタサイクル事業、中心市街地遊休不動産活用事業

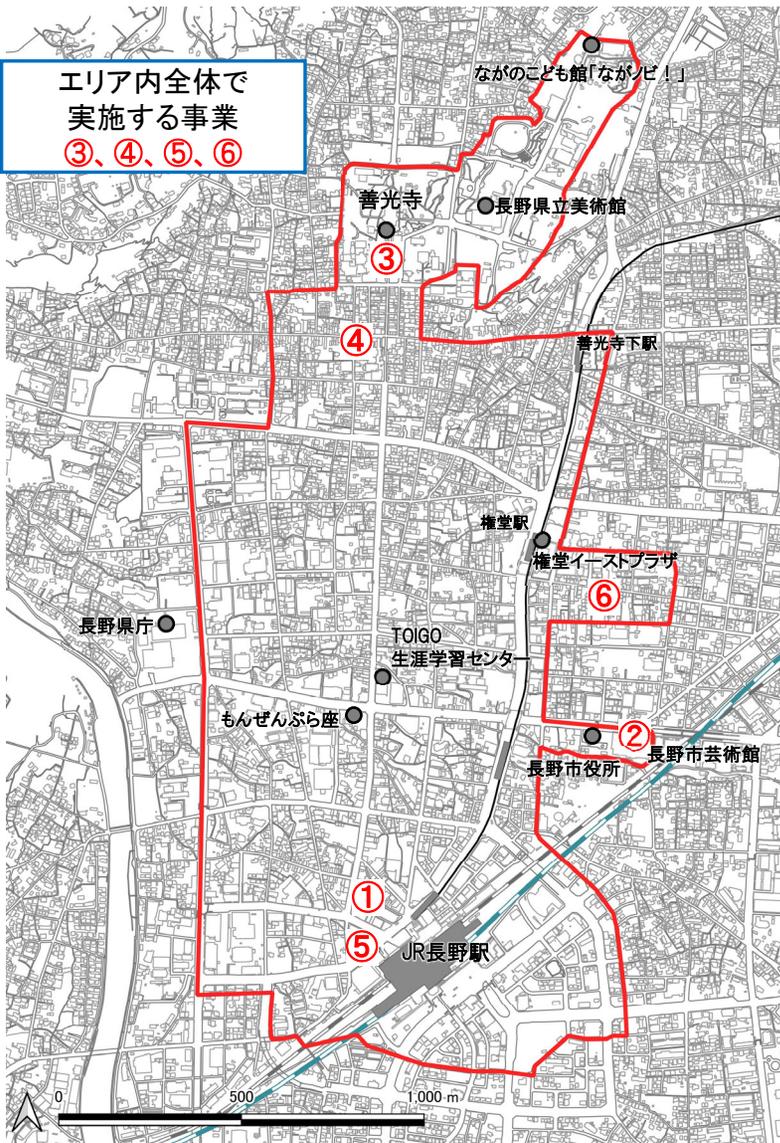


レンタサイクルステーション

目標達成に資する主な事業

中心市街地域図 : 2.37 km²

エリア内全体で
実施する事業
③、④、⑤、⑥



生きがいを感じるまち／住みたくなるまち

①長野駅前B-1地区市街地再開発事業

長野駅前の末広町交差点北東エリアにおいて、都市機能更新による商業・業務機能の拡充とまちなか居住を推進する施設整備を行う。

【社会資本整備総合交付金(国交省)】



再開発施設(イメージ)

②伝統芸能継承事業

長野市芸術館で、伝統芸能子どもフェスティバルなどを開催することにより、伝統芸能の継承と、世代を超えた交流により地域への愛着を深め、交流人口の増加に繋げる。

【中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】



伝統芸能子どもフェスティバル

訪れたいくなるまち

③長野灯明まつり開催事業

善光寺のライトアップや城山公園での灯籠を用いたゆめ灯り絵展等を開催することで、冬季のまちなか観光を推進する。【中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】



長野灯明まつり

④インバウンド等対応店舗支援事業

ホテルや飲食店において、外国人観光客に対応した施設整備と体験サービスの提供を支援することで、宿泊者数の増加に繋げる。

【地域未来交付金(内閣官房・内閣府)】



外国人観光客による茶道体験

歩きたいくなるまち

⑤長野市レンタサイクル事業

レンタサイクル事業(モデルコースの設定、マップ作成など)を実施することで、中心市街地における移動手段の選択肢を増やし、回遊性の向上を図る。

【中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】



レンタサイクルステーション

⑥中心市街地遊休不動産活用事業

遊休不動産の活用を促進するため空き家見学会、シンポジウムの開催に加え、リノベーションで生まれた魅力的な店舗の情報発信を行うことで、まちなか回遊の機会の創出を図る。

【中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】



遊休不動産利活用シンポジウム